

中部地区 公民館だより

第183号

令和8年5月8日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

令和8年度の事業がスタート

4月7日(火)、中部地区公民館第1回運営協議会が開催され、令和8年度の運営方針、事業計画、収支予算などが承認されました。



スローガン

—— 上山の魅力を感じて！ ——
出会い、ふれあい、未来へとつなぐ
生涯にわたっての学習と交流の場



運営方針

地域の方々の出会いの場、触れ合いの場、自己研鑽の場、学習と交流の場を数多くつくることにより、人と人とのつながりを強め、生きがいある豊かな人生に資する。また、自主的な住みよく潤いのある地域づくりを推進できるよう、公民館運営にあたっていく。

重点目標

- 1、中部地区公民館を地域の人にとって、さらに身近な公民館にする。
- 2、地域内外の団体等との連携や交流を行い、つながりを深める。
- 3、地区の人材資源を活用し、地域づくりを推進する。
- 4、各種公民館事業をとおり、地区のコミュニティを強める。
- 5、地域づくり委員会の地域づくり活動をさらに進め、事業協力員の協力を得ながら地域の交流を広げる。
- 6、中部地区公民館から発展した各種愛好会および高齢者自主事業を支援し、積極的に参加していただけるよう努力する。

お心当たりありませんか？

公民館利用の方の忘れ物が増えています。
お心当たりのある方は公民館事務所までお声掛けください。

3か月保管の後、持ち主不明の場合は処分させていただきます。



令和8年度 役員名簿

公民館運営協議会

	地区役職	地区名	氏名		地区役職	地区名	氏名
1	地区会長会	栄町	石黒 晃	13	学識経験者	北町	堀川 栄助
2		東町	林 秀夫	14		軽井沢	犬石 秀実
3		八幡丁	◎ 荒井 伸一	15	民生児童委員	御井戸丁	川合 弘子
4		仲丁	☆ 高橋 茂	16	高齢者教室	仲丁	☆ 田中 徹
5		上十日町	片桐 充	17	子ども会 育成会等	上十日町	中村 憲史
6		沢丁	佐藤 博雄	18		軽井沢	佐々木 壽
7		上新丁	安孫子剛宏	19	事業協力員	新町	○ 布川 和雄
8		下新丁	浦山 文一	20	公民館館長		
9	女性代表	北町	伊香 洋子		顧問	西山	牧野 義文
10		湯町	齋藤 紀子		アドバイザー	小学校校長	塚原 洋樹
11		下十日町	羽島 弘子				
12		新町	菊田喜美子				

○新任 【敬称略】

地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	氏名
上十日町	片桐 充	中十日町	安孫子哲郎	下十日町	羽島 健夫
上新丁	安孫子剛宏	下新丁	三宅 利治	北町	○ 宝池 明
栄町	○ 吉田 光一	八日町1	鹿野内 健	八日町2	土屋 政彦
美咲町	稲毛 祐史	東町	○ 村上 栄一	沢丁	○ 佐藤 博雄
新湯	○ 長沢美枝子	荒町	高木 則子	八幡丁	永井 仁
仲丁	金子 昌好	湯町	○ 齋藤 紀子	湯町新道	
軽井沢	○ 吉川 厚志	御井戸丁	○ 久保 孝久	新町	布川 和雄
西山	白谷 正志				

退任なされた方々には、これまで公民館活動にご尽力いただきまして、厚くお礼申し上げます。
また、再任、新任の役員の方々は、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度事業計画

会議・研修ほか

運営協議会
事業協力員会
中部地区会長会
公民館清掃
上山城周辺掃除
女性だけの集まり
消防訓練(事務局のみ)
キッズオープンデイ
実行委員会
各種委員会

一般講座

防災講座
1日研修
スマホ教室
キッズ
オープンデイ
健康講座
一般講話
ものづくり教室
演奏会
救命救急講座

体育

レクリエーション関係

ラージボール講習会
街歩きウォーキング
野山の植物観察
フライングディスクと
輪投げ大会
モルック講習会
地域の宝さがし
ウォークラリー
出前スポーツ教室

高齢者教室

開級式
1日研修
映画鑑賞
各種学習会
ふるさとふれあい
フェスティバル
歌の教室
閉級式

詳しい日程は毎月の
公民館たよりをご覧ください

参加者募集

街歩きウォーキング①(西山)

ヒメサユリと

ハッチョウトンボの観察

日時 5月22日(金)午前9時30分出発
集合時間 中部地区公民館 ギャラリー
講師 西山 牧野義文さん
対象 中部地区在住の方
募集人数 12人程度
参加費 無料
申込締切 5月18日(月)
その他 歩きやすいシューズ、帽子、タオル



熊対策は行いますが、都合により中止の場合もあります

飲み物は公民館で準備します

健康ポイント対象事業 20p

ラージボール卓球講習会

ラージボールとは、少し大きくて軽いボールを使用して行う卓球です
初心者でも「ラリーが続きやすい卓球」といわれています
ぜひ、体験してください

日時 5月26日(火) 午前9時30分
から午前11時30分まで
場所 生涯学習センター 体育館
対象 中部地区在住の方
募集人数 15人程度
参加費 無料
申込締切 5月20日(水)
持ち物 内履き、タオル



飲み物は公民館で準備します

健康ポイント対象事業 20p

フライングディスクと輪投げ大会

日時 6月9日(火)午前9時30分から正午まで
場所 中部地区公民館 多目的ホール
講師 フライングディスク 笹原京子さん
対象 中部地区在住の方
募集人数 20人程度
参加費 無料
申込締切 6月1日(月)
持ち物 内履き、タオル

飲み物は公民館で準備します



健康ポイント対象事業 20p

防災講座

避難所開設訓練(保存食の試食を含む)
緊急避難のために常備しておくべきもの

日時 6月12日(金)
午前10時から午前11時30分
場所 中部地区公民館 多目的ホール
講師 庶務課 危機管理係
佐藤正明さん
対象 中部地区在住の方
募集人数 25人程度
参加費 無料
申込締切 6月5日(金)

飲み物は公民館で準備します



5月の予定

8日(金) 第1回中部地区会長会
13日(水) 事業協力員会
20日(水) はこべの会 サロン
22日(金) 街歩きウォーキング①(西山)
26日(火) ラージボール卓球講習会
29日(金) 高齢者教室(はこべの会)開級式

5月 百歳体操

7、14、21、28日

5月 はこべの会サロン

日時 5月20日(水)午前10時
場所 中部地区公民館
多目的ホール
内容 「青年後見人制度」&茶話会
会費 300円
締切 5月14日(木)

藤井松平氏シリーズ6. 松平信行（7）復興、飯盛女の土搗き（中）

上山の文政八年（1825）3月29日の町の大
火で復興に18年かかりました。「御霊の宮」
は藩庁が「領主松平信行公武運長久」を祈願し
てすぐの再建です。

観音堂本堂は再建が18年後の天保14年
（1843）でした。世にいう「大吉火事」で類焼し
た湯の上観音寺の再建は町家の復興が進んだ後
でした。奈良時代からある観音堂はもと寺ではな
く観音堂だったために檀家は少なく町衆が再建
に力を合わせたのです。再建に向けた浄財の「奉
加帳」がありますが、ちょっと垣間見てみましょ
う。

まず、御家中が記されています。金貳百疋曾我
部右助（仲丁武家屋敷）、金貳百疋青木源左衛門、
金百疋中田平治、金百疋木田源太です（※百疋＝
金一分換算）。それに比べると天保の飢饉や火事
が相次いだなかの町方の財力は注目し値します。
領内中村屋小左衛門〔中十日町旅籠屋〕五両、原
田周蔵〔上・問屋で本陣〕五両、梅津元泉〔上・
医師〕三両、堺屋金六〔中・肴屋〕三両、越前屋
重蔵〔下・茶屋〕三両、仙石村清六金三両と餅米
一俵、明石屋又十郎〔鷹匠町〕二両、越後屋（鈴
木）恒八（下・置屋）二両、会津屋内駒吉〔下〕
二両、玉美屋善兵衛〔下〕二両などです（世話人
除く）。他に町民商人多数ですが、角寒河江屋内
乳母の肩書き「おとん」が金一朱を拠出してい
ます。ここで注目するのは旅籠屋困いの飯盛女
です。詳細を見ると観音堂建前に労働奉仕の例
「金一分二朱、但し日雇い払い」の記載があるの
で、同じように浄財を出せなかった飯盛女が
「土搗き」に登場するようになったのかもしれま
せん。「会津屋内小波、寒河江屋内をつる、播磨
屋内おせん、相模屋内ちさの」らが各一両を拠出、
随分お金持ちだったと驚かされます。金額が記さ
れない女性は「中村屋内おふみ、おきね、おふう、
おきぬ、おきた、おさの」です。

羽州街道の旅籠泊まり客で、二両江戸姫路屋小

菅長三衛（会津屋客三月、五月分割）、二百疋江
戸日本橋甲教舎良山、二分八幡屋客越後小千谷長
治郎などがおり、大江戸、新潟の商人、塾講師、
往復で分割、名前なしの喜捨浄財も見られます。
地域の不幸に喜捨する心情があったと理解され、
その勧誘を担当した町方がいたことも覗われま
す。

担当者は藩の下郷にも出向き、寒河江、西里、
小泉、谷地、山野辺の人が寄進、「様、付きで記
載の名主、又、湯の原などからも浄財が寄せられ、
龐大な地域の事業でした。

さて、天保14年（1843）まで世話人、檀信徒
らが八幡屋で会合を重ねて、5月1日に地鎮祭、
6月18日から町方小揚者（人夫）、金谷、仙石
の若衆大勢が基礎の土搗きを行い、その折り「女
持の旅籠屋より女郎衆を男の体に変装させ土搗
きに手伝わせ、櫓の上に揚げて音頭を取らせ」近
郷よりの参詣人で大賑わいでした。ところが翌日
に御上より時節柄派手な振る舞いはご法度であ
ると差し留められ、25日に世話人はお咎め、旅
籠屋は女郎衆を男装させ櫓にあげた咎で閉門に
なりました。町衆には復興の象徴で熱気が高まり
羽目がはずれるほどの賑わいだったのでしょ
う。世話人、旅籠屋は一ヶ月後に謹慎が解かれま
した。9月に土搗きを再開、20日には町方小揚者、
金谷の若衆、最寄りの人々でしめやかに成し遂げ
ました。以上は観音堂再建に飯盛女が土搗きに参
加したというエピソードです。

旅籠屋が女郎衆を櫓に上げたことは熨りもあ
ったのでしょ
うが、飯盛女衆は父母を救いたいと
の一心で奉公に来て観音堂へのお祈りで日々を
生き抜いていたので心の支えの観音様へのご恩
返しのもりだったの
か
も
し
れ
ま
せ
ん。

※参考文献：「市史」、「上山見聞随筆」⑩、「上山年代
略記」②、「上山郷土史」⑫、「上山戸別図」、「湯上観
音縁起書」他。